

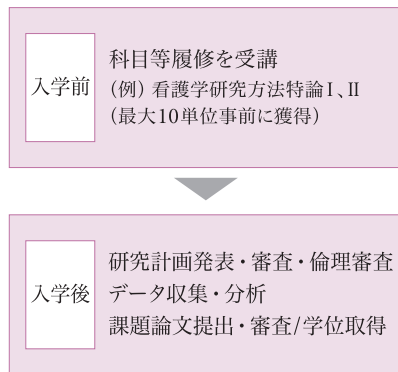
ライフステージに合わせて選べる、3つの履修モデル

1年集中モデル

地域共生看護コース限定

豊富な実践知を持つプラチナナース等に最適。科目等履修制度（最大10単位事前取得）や自己啓発休職制度を活用し、1年間で集中的に実践知を学術化。

■研究の流れ

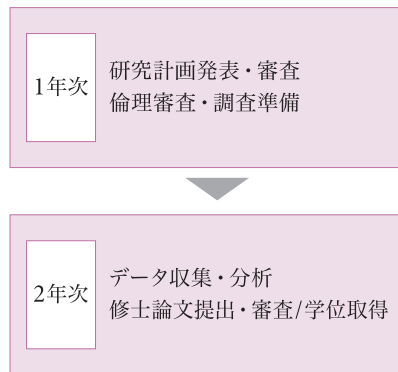


2年標準モデル

段階的に進める

研究計画、論文執筆まで、段階的かつ計画的に進めるスタンダードな道程。

■研究の流れ



3年長期履修モデル

じっくり進める

仕事や家庭を第一に優先。焦らずじっくりと研究に取り組みたい方のための、心にゆとりを持てる履修計画。

■研究の流れ



■働きながら学び続けるための、学習環境とサポート体制

時間割の最適化

必修科目は平日の「6限(夕方以降)」に配置。日中の勤務を終えた後の学修に。土曜日の集中開講を活用し、平日への影響を最小限に。

ハイブリッド運用

対面授業に加えて、オンラインやオンデマンド授業を効果的に組み合わせ、どこからでも学べる環境を整備。

多職種連携教育

大学院共通科目(13科目)を通じ、他専攻(福祉など)の学生と交流。医療の枠を超えた広い視野と多職種協働の力を獲得。

経済的負担の大幅な軽減

文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」および「専門実践教育訓練給付金」の対象講座化を推進(予定)。自己負担を抑え、持続可能な学び直しを実現します。

入学前からの単位取得

「科目等履修制度」の活用。入学前に「看護学研究方法特論」などの単位を取得(最大10単位)でき、入学後の負担を分散させることができます。

多様な入試制度

社会人の実践経験を評価する「社会人入学試験」を設置し、あなたの現場でのキャリアをしっかりと評価します。

修士論文テーマ

- ・重症心身障がい児の特別支援学校の医療的ケア場面における保護者の期待
- ・急性期病院における新人看護師の就業継続に関する看護師長の認識
- ・要保護児童対策調整機関における保健師の活動
- ・統合失調症患者の治療薬選択における精神科看護師の支援
- ・中途採用看護師の職場継続のための自分の努力
- ・35歳未満就労女性の月経随伴症状の実態調査
- ・3年課程看護師養成所に勤務する熟達教員の授業力量に関する研究
- ・院内トリアージにおけるトリアージナースによる第一印象の実態